



オンライン

2021年11月30日

上海国際交流プログラム 2021

上海姉妹校オンライン交流会

自己紹介や「私の食事」について互いに発表しました



平成16年に始まった上海国際交流プログラムは、姉妹校である上海市工商外国語学校との交流事業です。学校訪問やホームステイを通して生徒同士が交流しあい、互いの文化を理解することを目的として続けられてきました。新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら令和元年の10月を最後に、対面での交流はできていませんが、11月30日の昼休みを使ってオンラインでの交流会を実施することができました。

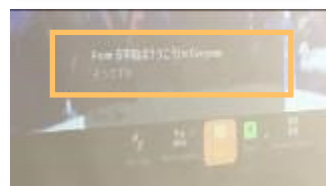
参加生徒は中国語会話の選択者を中心に20名を超え、各校代表のそれぞれ6名が「私の食事」と題し、簡単な自己紹介とともに普段の食事について発表しました。

本校生徒は、お弁当で使う曲げわっぱやおかずの説明、友人とのティータイムや誕生日会でのデリバリーの様子、家族が作る肉じゃがなどについて日本語と中国語で発表しました。上海の生徒は皆日本語がとてもうまく、朝ご飯の様子や学校の食堂や売店で販売されているものの紹介、カップラーメン、おやつなどについて発表してくれました。両校の生徒ともに、発表に向けてよく練習してくれていたのだと思います。

今回は、時間も短く、また機器などの制限もありましたが、同じ高校生同士で通じ合うところは多く、短時間ながらもチャットでコミュニケーションをとるなど、互いに思いを伝えようという姿勢が見られました。これらの体験を将来やみなと総合での高校生活に還元していただけることを願っています。



上:本校生徒の発表している様子です。
右上:上海生徒がおやつについて発表している様子です。



チャットでも少しだけ交流しました。